

平成27年度 グローバルファシリティセンター機器分析技術研修会 「分析値の取り扱い」 実施報告

平成28年3月7日（月）～8日（火）

創成研究機構 グローバルファシリティセンター機器分析受託部門会議室において『機器分析技術研修会』を開催いたしました。

北海道大学内で働く技術職員を対象に機器分析専門研修第1回目として企画した今回は、講師として東京都市大学 平井昭司先生、化学物質評価機構（CERI）山澤 賢氏をお迎えし、【分析値の取り扱い】をテーマに2日間かけて講義・演習を行いました。

機器分析に携わる職員にとっては切っても切り離せない“分析値の不確かさ”ですが、奥深いものがあり、まだまだ継続して学んでいく必要があります。電卓片手に鉛筆を走らせ、頭を悩ませる演習では、受講者(12名)の皆様の真剣な様子が見られました。

アンケート結果を参考に、次年度も引き続き企画して参りますので、今後とも、宜しくお願い致します。

H27年度企画担当：GFC 機器分析受託部門長 岡



アンケート結果 受講者12名

参加理由

興味があった	11
業務に役立つため	7
スキルアップのため	10
上司に勧められて	1

講義について

満足	8
どちらかといえば満足	4
どちらかといえば不満	0
不満	0

演習について

満足	9
どちらかといえば満足	3
どちらかといえば不満	0
不満	0

講義について 感想ご意見など(抜粋)

- ・ 非常に有意義な内容 (5名)
- ・ (少人数で) わかりやすい (2名)
- ・ 実例がさんこうになる (2名)

演習について 感想ご意見など(抜粋)

- ・ 実際に手を動かすことで理解が深まった (5名)
- ・ 難しいが、理解が深まった
- ・ 若干早足だったが、何度が自分でも計算してみたい

今後参加したい設備研修会は？

生物系装置/顕微鏡/次世代Seq/Taitan/MS/NMR/液クロ/GC/X線
機器分析にかかわる基礎的物理・化学・数学・技術英語の研修

今後参加したい研修項目は？

技術を身に付けられる研修(レベル別希望)/分析の統計処理の基礎
バイオインフォマティクス/サーバー管理の基礎/シングルセル解析/生化学
質量分析の基礎/表面分析の解析方法/検出下限・定量下限の取り扱い

実施スケジュール

1日目(3月7日)

9:00～	受付
9:30～	開会
9:35～9:50 (15分)	自己紹介(ひとり1分程度)
9:50～10:50 (60分)	分析の品質保証
11:05～12:00 (55分)	数値の取り扱い
13:00～14:00 (60分)	標準物質の役割とトレーサビリティ
14:10～15:10 (60分)	分析のトレーサビリティと校正
15:20～17:00 (100分)	分析値の不確かさ—その考え方, 求め方

2日目(3月8日)

9:30～10:20 (50分)	分析値の不確かさ—事例紹介
10:30～11:20 (50分)	分析値の不確かさ—演習と評価①
11:30～12:20 (50分)	分析値の不確かさ—演習と評価②
13:20～14:10 (50分)	分析値の不確かさ—演習と評価③
14:15～14:35 (20分)	まとめ 別紙1 質疑応答
15:00	閉会